

小川町勤労者フェスティバル  
**第4回 おがわ寄席**  
 ～みんな笑顔でおがわがお♪

落語の世界をお楽しみください。みんなで笑顔になりましょう！

**日時** 2月14日(日)午後2時  
**場所** パトリアおがわ 生きがいホール  
**出演** 柳家さん喬(平成24年度 第63回 芸術選奨 文部科学大臣賞受賞[大衆芸能部門])、林家けい木(小川町出身。平成27年5月二つ目昇進)、ほかの皆さん  
**費用** 税込500円(払戻し不可)  
 \*小川町商工会、楽市おがわでチケット発売中  
**定員** 小川町在住・在勤の方300人  
 \*全席自由です。  
 \*乳幼児・小学校低学年はご遠慮願います。  
**主催** 小川町勤労者フェスティバル実行委員会(構成団体:(公社)東松山法人会 小川支部・小川町商工会・小川町)  
**問合せ** 小川町商工会「小川町勤労者フェスティバル事務局」(中央公民館2階)  
 ☎72-0280



柳家さん喬



林家けい木

新春恒例!  
**平成28年**  
**消防協会比企支部消防出初め式**

消防協会比企支部(東松山・滑川・嵐山・小川・吉見・ときがわ・東秩父消防団)と比企広域消防本部の合同で消防出初め式を挙ります。ぜひご覧ください。

**日時** 1月9日(土)午前9時  
**場所** 東松山市立松山第一小学校グラウンド  
**内容** 観閲・分列行進・伝統はしご乗り・幼年消防クラブ演技

※当日、午前6時に演習召集信号(サイレン)を吹鳴しますので、火災と間違えないようご注意ください。

**問合せ** 比企広域消防本部管理課  
 ☎23-2265



申請はお済みですか? **臨時福祉給付金**



申請受付は  
**1月15日(金)までです**

**問合せ** 福祉介護課 社会福祉担当  
 ☎☎355

**認知症サポーターフォローアップ講座**

認知症の方を温かい目で見守る応援者を増やすための講座です。理解を深め、できることを一緒に考えましょう!

**日時** 2月25日(木)午後2時~3時30分  
**場所** パトリアおがわ 2階研修室  
**講師** みやざきクリニック 宮崎香理先生  
**定員** 過去に認知症サポーター養成講座を受講した方40人(先着)  
 \*オレンジリングをご持参ください  
**申込み** 2月19日(金)まで \*電話可  
**問合せ** 小川町社会福祉協議会 地域包括支援センター  
 ☎74-3461

**国保医療費がピンチです!**

**問合せ** 町民生活課 国民健康保険担当 ☎☎147~149  
 小川町国民健康保険の医療費の増加が止まりません。当町の国保財政は大変厳しい状況にあります。更なる「医療費の適正化」にご協力ください!ご自身の受診料の節約にもつながります。

※かかった医療費のうち、7~9割分は小川町が負担しています。



保存版

◆上手なお医者さんのかかり方◆ 少しの工夫で節約できます!

**夜間・休日診療はよく考えてから**  
 診療時間内でも平日の午後6時以降、土曜日の正午以降は、割増料金で医療費が高くなります(薬局は平日の午後7時以降、土曜日の午後1時以降)。急な病気やケガで困ったら下記にお問合せください。

◆大人の救急電話相談(看護師対応)  
 ☎#7000または048-824-4199  
 (毎日午後6時30分~10時30分)  
 ※医療機関案内サービスは24時間対応

◆耳鼻咽喉科 休日救急診療  
 日曜・祝日の午前9時~午後5時まで耳鼻咽喉科の特殊救急を実施しています。当番医は埼玉県HPでご確認ください。  
 \*近隣の休日当番医は「広報おがわ」または町HPでご確認ください。

**子供が急病の時、まずは電話相談を!**  
 ◆小児救急電話相談(看護師対応)  
 ☎#8000または048-833-7911  
 月~土曜日:午後7時~翌朝7時  
 日曜・祝日:年末年始:午前7時~翌朝7時

◆比企地区こども夜間救急センター  
 (東松山医師会病院内) 対象15歳以下  
 ☎22-2822  
 月~金曜日:午後7時30分~10時  
 \*土・日・祝日・年末年始を除く

**救急車は適正利用を**  
 救急車は、重症患者の救急搬送のためのものです。タクシー代わりの利用はやめましょう。一方、脳卒中が疑われる時など緊急の場合は、迷わず利用しましょう。

**かかりつけ医・かかりつけ歯科医を持ちましょう**  
 自分や家族の病歴や普段の健康状態を把握して

くれている「かかりつけ医」や「かかりつけ歯科医」がいると安心です。なお、大病院を紹介状なしで受診すると、特別料金が加算されることがあります。

**はじめて受診は控えましょう**  
 同じ病気で複数の医療機関にかかること、その都度「初診料」がかかるだけでなく、重複する検査によって、かえって体への負担を増やすことになります。

**年に一度は健康診断を受けましょう**  
 早期発見・早期治療により重症化を予防できれば、結果的に医療費も安く済みます。自覚症状がなくても、年に一度は体の健康チェックをしましょう。特定健診(40歳以上)や30歳代健診、各種がん検診、人間ドック助成をご利用ください。

**かかりつけ薬局を決めましょう**  
 調剤を一つの薬局に任せれば、複数の薬の「飲み合わせ」や自分の体質に合わない薬など、服薬歴を把握したうえで適切なアドバイスが受けられます。

**お薬手帳を持参しましょう**  
 調剤された医薬品名等を一冊の手帳にまとめることで、医師や薬剤師が患者の服用歴を簡単に確認でき、副作用の防止や重複投与の回避につながります。なお、飲み残した薬が余っている時は、医師・薬剤師に伝えましょう。

**ジェネリック医薬品を利用しましょう**  
 品質・有効性・安全性が確保されているジェネリック医薬品(後発医薬品)は、一般的に低価格で家計を助けます。国保からお配りした「ジェネリック医薬品希望カード」を活用しましょう。一部の方には、ジェネリック医薬品に切替えた場合の差額をお知らせしています。